

オリンピックアクアティクスセンターについて

1 立地について

所在地 江東区辰巳2丁目1番35号 (辰巳の森海浜公園)
交通アクセス 東京メトロ有楽町線「辰巳」駅から徒歩約10分
JR京葉線「潮見」駅から徒歩約10分
JR京葉線、東京臨海高速鉄道りんかい線、東京メトロ有楽町線
「新木場」駅から徒歩約15分

2 大会実施競技について

【オリンピック】競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング
【パラリンピック】水泳

3 施設内容(暫定)について

下記の内容は、立候補ファイルに基づいて記載した内容であり、現在、引き続き検討中の状況です。今後の検討の進捗により、施設規模等については変更や増減が想定されます。

企画提案書の作成にあたっては、下記の各事項及び都の「後利用の方向性」を参考情報としてください。

- ・ 競技施設
 - メインプール 50m×25m : 10コース
 - サブプール 50m×25m : 10コース
 - 飛込プール 25m×25m
- ・ 座席数
 - 大会時 約20,000席
 - 大会後 約5,000席 ※約15,000席を大会後に減築
- ・ 延べ床面積
 - 大会時 約57,850㎡
 - 大会後 約32,920㎡
- ・ 関係諸室
 - 大会運営関連諸室(選手更衣室、選手召集室、会議室等)
- ・ その他
 - トレーニング室やカフェ・レストラン・売店等の設置の検討

※ 当該施設にかかる準拠法令や都市計画などに、留意して下さい。

所在地		江東区辰巳二丁目1番35号 (辰巳の森海浜公園)
土地所有者		東京都
主な関連法規等		「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「海岸法」・「海上公園条例」・ 「高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例」など
		用途 地域 第一種中高層住居専用地域 (建ぺい率 70%/容積率 300%)
計 画	東京の都市づくり ビジョン	マリーナやスポーツ施設、大規模公園などを活かし、スポーツ・レクリエーション施設のネット ワーク化や水辺へのアクセスを確保
	江東区都市計画 マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辰巳団地の建替え計画にあわせて、辰巳駅周辺を中心に、生活支援施設や高齢者等 が安心できる住環境の誘導を進め、様々な世代の居住ニーズや、環境共生・景観形成 に配慮したまちの形成を図ります。 ・ 辰巳の森海浜公園や辰巳運河などのさらなる活用を関係機関と連携して進め、公園や 水辺を身近に楽しめる都市環境を形成していきます。
周辺状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 運河に囲まれたウォーターフロント地区、辰巳の森海浜公園内 ・ 首都高速をはさんで東に辰巳団地が立地し、南に物流施設ゾーンが立地している。 ・ 敷地に隣接して東京辰巳国際水泳場 (1993 年竣工) がある。
交通アクセス		<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京メトロ有楽町線「辰巳」駅から徒歩約 10 分 ・ JR 京葉線「潮見」駅から徒歩約 10 分 ・ 東京臨海高速鉄道りんかい線、JR 京葉線、東京メトロ「新木場」駅から徒歩約 15 分 ・ 都バス「辰巳団地」下車徒歩約 5 分

海の森水上競技場について

1 立地について

所在地	江東区青海三丁目地先 中央防波堤東西水路
交通アクセス	東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート」からバス約 15 分 「環境局中防合同庁舎前」下車 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「テレコムセンター」からバス約 10 分 「環境局中防合同庁舎前」下車

2 大会実施競技について

【オリンピック】	ボート/カヌー (スプリント)
【パラリンピック】	ボート/カヌー

3 施設内容について

下記の内容は、立候補ファイル及び、「平成 26 年度海の森水上競技場基本設計 特記仕様書」等に基づいて記載した内容です。現在、引き続き検討中の状況であり、今後の検討の進捗により、恒設・仮設の別、施設数、施設規模等については、変更や増減が想定されます。

企画提案書の作成にあたっては、下記の各事項及び都の「後利用の方向性」を参考情報としてください。

・敷地面積	約 30ha (水域は除く)
・競技施設	
競技コース	2,000m×108m(8 コース) ※東西締切により静水
・座席数	大会時 約 24,000 席(内立見席 10,000 席) 大会後 約 2,000 席
・競技関連棟	
艇庫、ラウンジ、会議室等	延べ面積：5,890 m ² 程度 (鉄骨造 2 階建を想定)
・関連諸室棟	
関係者諸室、観客席等	延べ面積：3,590 m ² 程度 (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建を想定)

・その他建築物

フィニッシュタワー	延べ面積 400 m ² 程度 (鉄骨造 4 階建を想定)
スタート施設	延べ面積 24 m ² 程度 (鉄骨造平屋建を想定)
アライナー小屋	延べ面積 24 m ² 程度 (鉄骨造平屋建を想定)

・その他

水門	2 基 (東側、西側各 1 門)
揚排水施設	1 基
締切堤 (東側)	L=200m (堤上の通路は大会後利用者の通路等として活用)

※当該施設にかかる準拠法令や都市計画などに、留意して下さい。

所在地		江東区青海三丁目地先 中央防波堤東西水路 ※東京港中央防波堤内側及び外側埋立地間の水路 (仮称: 東西水路)	
土地所有者		東京都	
主な 関連 法規 等	建築基準法	用途地域	市街化調整区域であり、用途地域の指定なし
	その他	「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「航空法」・「海上公園条例」 など	
計画	海の森(仮称)構想 海上公園計画	水辺遊び、生き物観察、海辺の散策を想定したゾーン (「中央防波堤内側 海の森 (仮称)」構想 答申)	
周辺状況		「海の森公園」の整備が進められている。 中央防波堤外側と若洲と結ぶ「東京ゲートブリッジ」が平成 24 年 2 月に開通	
交通アクセス		東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート」駅からバス約 15 分「環境局中防合同庁舎前」下車 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「テレコムセンター」駅からバス約 10 分「環境局中防合同庁舎前」下車	

有明アリーナについて

1 立地について

所在地 江東区有明一丁目

交通アクセス 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「有明テニスの森」駅から徒歩約 8 分

東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場」駅または「東雲」駅から徒歩約 17 分

2 大会実施競技について

【オリンピック】 バレーボール（インドア）

【パラリンピック】 シットイングバレーボール

3 施設内容（暫定）について

下記の内容は、立候補ファイルに基づいて記載した内容であり、現在、引き続き検討中の状況です。今後の検討の進捗により、施設規模等については変更や増減が想定されます。

企画提案書の作成にあたっては、下記の各事項及び都の「後利用の方向性」を参考情報としてください。

- ・座席数 最大 約 15,000 席（仮設席含む）
- ・敷地面積 約 36,600 m²
- ・延べ床面積 約 32,170 m²
- ・競技エリア メインアリーナ（バレーボールコート 4 面 又は ハンドボールコート 3 面配置可能）
- ・ウォームアップエリア サブアリーナ（バレーボールコート 2 面配置可能）
- ・関係諸室 運営関連諸室など
- ・その他 駐車場など

※当該施設にかかる準拠法令や都市計画などに、留意して下さい。

所在地		江東区有明一丁目
土地所有者		東京都
主な関連法規等		「都市計画法」・「建築基準法」・「港湾法」・「海岸法」 「高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例」など
		地区計画 臨海副都心有明北地区 地区計画
		用途地域 第一種住居地域（建ぺい率 60%/容積率 200%）
計画	東京の都市づくりビジョン	緑豊かな旧防波堤や海の眺望景観を生かし、潤い豊かな住宅地と活力とにぎわいのある商業、業務機能、魅力ある文化、レクリエーション機能、学校などの公共・公益機能などがバランスよく複合した市街地を形成
	臨海副都心まちづくり推進計画/有明北地区まちづくりマスタープラン・ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住機能の周辺に、業務・商業・公益・スポーツレクリエーション機能等を配置 ・ 東西両入江の周辺には、ウォーターフロントの景観を活かした公園や公共公益施設を配置
周辺状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接地は海上公園計画地で、水際は親水公園エリア ・ 最寄駅から計画地に向け、高層マンションや業務ビルが多く立地 ・ 計画地の100m以内に幼稚園・保育園、小・中・高校、大学が集中
交通アクセス		<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場」駅または「東雲」駅から徒歩約17分 ・ 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「有明テニスの森」駅または「新豊洲」駅から徒歩約8分 ・ 都バス「かえつ有明中高前」下車徒歩約4分

カヌー・スラローム会場について

1 立地について

所在地	東京都江戸川区臨海町六丁目1番
交通アクセス	J R京葉線「葛西臨海公園」駅から徒歩約12分

2 大会実施競技について

【オリンピック】	カヌー（スラローム）
----------	------------

3 施設内容について

下記の内容は、立候補ファイル及び、「カヌー・スラローム競技会場整備基本設計」特記仕様書に基づいて記載した内容です。今後の検討の進捗により、恒設・仮設の別、コース形状、施設数、施設規模等については、変更や増減が想定されます。

企画提案書の作成にあたっては、下記の各事項及び都の「後利用の方向性」を参考情報としてください。

・競技施設

競技コース	L=300m
練習コース	L=200m
フィニッシュエリア	S=17,000 m ² 程度
ボートエスカレーター	2基
橋梁	2橋 (L=50mW=4m、L=20mW=4m)

・座席数

大会時	約15,000席 (内立見席 3,000席)
大会後	0席 (大会後に撤去)

・関係諸室

競技関連諸室	延べ面積 900 m ² 程度
施設運営関連諸室	延べ面積 700 m ² 程度
監理諸室	延べ面積 1,600 m ² 程度

・設備

起流ポンプ	12 m ³ /秒
浄化設備 (循環ろ過機、洗浄排水槽等)	50 m ³ /分
排水ポンプ	0.3 m ³ /分
受変電設備	高圧受電

配電設備
電源設備
操作制御設備
自家発電設備

・その他

水深：0.8m～1.5m 程度

落差：スタート地点とゴール地点とで 5m程度の落差

※当該施設にかかる準拠法令や都市計画などに、留意して下さい。

所在地		東京都江戸川区臨海町六丁目 1	
土地所有者		東京都	
主な 関連 法規 等	都市計画法	都市計画決定 昭和 39 年 2 月 都市計画事業認可 昭和 39 年 12 月	
	下水道法	事業計画：昭和 43 年 7 月	
	建築基準法	用途地域	工業地域 (建ぺい率 60%/容積率 200%)
計 画	東京の都市づくりビジョン	水辺の大規模公園や商業、文化、アミューズメント施設が立地する、広域的なレクリエーション空間を形成 (第 3 章の 2 「東京湾ウォーターフロント活性化ゾーン」)	
周辺状況		計画地は、葛西水再生センター用地内にある。葛西水再生センターは、首都高速道路を挟み南北の施設からなる。 周辺には、東側に葛西臨海公園、南側には東京湾、北側には葛西トラックターミナルや倉庫群、ゴルフ練習場、団地、病院がある。	
交通アクセス		J R 京葉線「葛西臨海公園」駅から徒歩約 12 分	